

思川だより

令和8年7月17日 第94号

思川開発建設所長 就任挨拶

令和8年4月1日付けにて、渡良瀬川ダム総合管理所の思川開発建設所長を拝命いたしました夏目です。皆様方には、日頃より思川開発事業へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。事業の実施にあたり、永年にわたり住み慣れた故郷からのご移転、また大切な土地をお譲りいただいた皆様、ならびに地域の皆様には格別のご理解・ご協力を賜りましたことに改めまして厚く御礼申し上げます。

現在、当事業では、試験湛水を継続しつつ、導水路、送水路、付替林道、管理設備等の工事を進めているところです。周辺地域にお住まいの皆様には、工事に伴い、ご不便、ご迷惑をおかけしております。今後とも周辺の環境に配慮しつつ、地元関係者や関係機関の皆様のご協力を得ながら事業完了に向けて努力してまいりますので、引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

渡良瀬川ダム総合管理所
思川開発建設所長 夏目浩和



南摩ダムのダム湖名決定！

南摩ダムのダム湖の名称について、全国から応募された名称を南摩ダム水源地域ビジョン策定委員会（3月18日（水）開催）にて審議した結果、「かぬま梶又湖」に決定されました。

【ダム湖名に込められた思い】

「梶又（かじまた）」は、貯水池内にあった小字名で、梶又小学校をはじめ、地域の多くの皆様の思い出が詰まった地名を後世に伝えたいという思いが込められています。「かぬま」は、鹿沼市の名を全国的に広め、訪れる人々が、より親しみやすい湖となるようにとの思いが込められています。

またダム湖名決定の記念イベントとして、4月11日（土）に「南摩ダムウォーキング&ダム登山」を「スノーピーク鹿沼・開業2周年祭」と併せて開催しました。約150名の方に参加いただき、ダム洪水吐きの脇にある階段約400段を登りながら、南摩ダムの大きさを体感していただくなど、賑わいを見せたイベントとなりました。



ダム湖名の発表状況(令和8年3月25日)



ダム登山の状況（令和8年4月11日）

イベント参加情報

花と緑のフェスタ

4月25日（土）に鹿沼市花木センター公社主催によるイベント「花と緑のフェスタ 2026」が鹿沼市花木センターで開催されました。機構では南摩ダムのパネル展示の他、南摩ダム缶バッジやチップ材の配布を行いました。

また、花木センター園内の「ルピナス祭り」では、鮮やかに咲く色とりどりのルピナスが来場者を楽しませていました。



県民の日 記念イベント

6月13日（土）に栃木県「県民の日」記念イベントが開催されました。

機構は、県庁本館に設置された特設コーナーで南摩ダム本体工事のタイムラプス映像を放映するなど事業のPRを行いました。

当日は、県庁本館含め周辺にて多彩な催しが行われ、多くの家族連れでにぎわいを見せていました。



水と緑の南摩の里アクティビティ プレオープン

7月22日（水）に、南摩ダム周辺アクティビティ施設の整備が一部完了したことを記念して、プレオープン記念式典の開催が予定されています。

一般の方向けの営業は、事前予約制にて翌23日（木）から行われる予定です。



期間限定ダムカードの配布

不定期に配布している期間限定ダムカードの新バージョンを8月頃配布開始予定です。配布開始前にXとHPで告知しますのでご確認ください。

?

デザインは入手してからのお楽しみ!

工事の進捗状況

南摩揚水機場ポンプ設備工事

南摩ダム直下の一際大きな建物の中では、ダムで貯留した水を大芦川、黒川へ送水するためのポンプ設備の工事を行っています。

ポンプ設備は、大・中・小それぞれ2台ずつ計6台あり、各ポンプを組み合わせることで、細かな流量調整が可能となり、最大4.6m³/sを送水することができます。

現在の施工状況は、ポンプ、原動機、場内送水管の主要機器の据付が完了し、燃料タンクや電気配線、系統機器の据付を行っており、引き続き近隣の方々にご迷惑とならぬよう努めてまいります。



揚水機場建屋



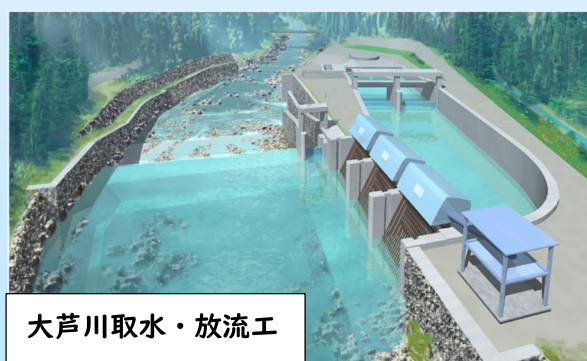
ポンプ設備全体写真

まもなく試験導水開始

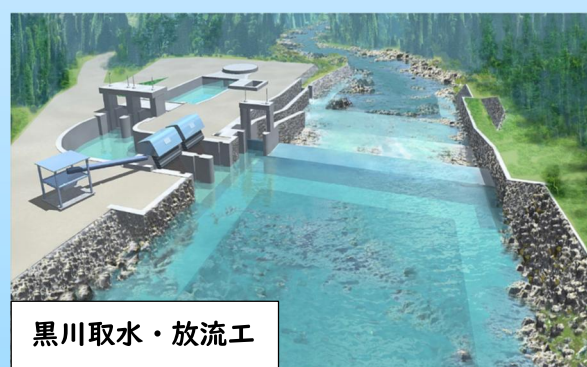
思川開発事業では、黒川と大芦川に取水・放流工を建設し、南摩ダム貯水池（かぬま樋又湖）の上流に注水工を構築して、それらの施設を水路トンネルで結ぶ工事を、令和元年から進めています。総延長約9kmの水路トンネルが、昨年、無事貫通しました。この工事は現在、導水路の機能を確認する試験導水の開始に向け、最終段階に入っています。

今後、南摩川の水に加えて、黒川と大芦川からの取水が始まれば、南摩ダムの試験湛水が進むことも期待されます。しかし川からの取水は、川の水量が豊かなときに、下流で川の水を利用している方々に影響のない範囲で行うため、川から取水する量（＝南摩ダム貯水池に導かれる水の量）が天候によって変わることは避けられません。

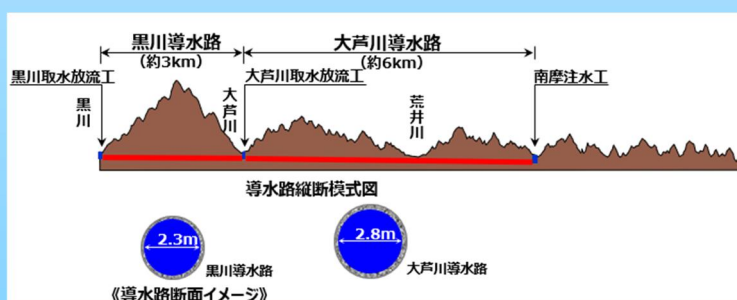
気候が変わってきていると実感する昨今ですが、昨年のような雨の少ない夏にならないことを願っています。



大芦川取水・放流工



黒川取水・放流工



野生動物出没注意情報

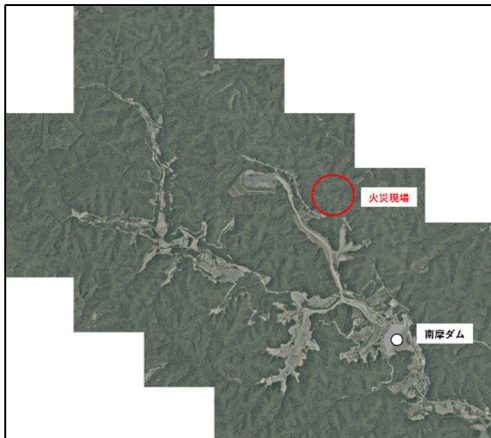


南摩ダム周辺では熊の目撃情報が複数確認されています。

今年の 5 月には近隣の上南摩地域でも目撃されており、今後も周辺で出没する可能性があります。

お近くにお越しの際は十分ご注意ください。熊を見かけた場合は近づかず、落ち着いてその場を離れ、安全確保をお願いいたします。

南摩ダム貯水池周辺での山林火災における消防・自衛隊への協力について



2 月 21 日(土)に発生した南摩ダム左岸の県道上久我栃木線栗沢トンネル付近での山林火災について、消防及び自衛隊からの協力要請を受け、貯水池から給水することに協力しました。貯水池からの給水量は、約 1,144,700L(1,144.7m³)となりました。



自衛隊による給水

また、5 月 30 日(土)に発生した鹿沼市下沢地内付近での山林火災について、消防からの協力要請を受け、貯水池から給水することに協力し、貯水池からの給水量は、約 2,300L(2.3m³)となりました。

人事異動のお知らせ（管理職）

転入		転出
渡良瀬川ダム総合管理所		
副所長	田中 秀樹（前 用地課長）	岩原 典和（中部支社へ）
総務課長	中田 貴志（本社より）	菊地 滋男（退職）
思川開発建設所長	夏目 浩和 （揖斐川・長良川総合管理所より）	竹内 祐治（吉野川上流総合管理所へ）
工務課長		上ノ町 勝志（吉野川上流総合管理所へ）

編集後記

○昨年から全国的に熊の目撃情報が確認されています。

熊鈴やカプサイシン入りのスプレーを準備するなど、熊と遭遇しないことを祈りつつ、遭遇したときの対処方法も頭の片隅に入れておきたいですね。

○次号の思川だよりは、令和 9 年 1 月 20 日の発行を予定しています。

編集・発行



独立行政法人水資源機構 渡良瀬川ダム総合管理所

〒376-0303 群馬県みどり市東町座間 564-6

TEL (0277) 97-2131 FAX (0277) 97-3300

<https://www.water.go.jp/kanto/watarase/index.html>

渡良瀬川ダム

検索



HP



X

(旧 Twitter)